

# 青年部通信

事務局 佐々木 善久



令和4年4月より青年部事務局担当になりました佐々木善久と申します。青年部の活動に貢献できるように日々邁進していくので、これからよろしくお願ひします。

青年部にて、毎年行っているライスロマンクラブの育苗作業が4月21日から4月30日まで行われました。作業は、播種作業・移動作業の2種類の作業があり、各4日ずつ行い約1万6千枚を仕上げました。

今年は、新たにメンバーが2人ほど加わり新体制での作業となりました。新入部員らは、青年部事業への参加が初めてであるため、播種作業と移動作業の両方を経験してもらいましたが、緊張の様子で活動していました。役員の方々が班長となり、ベテランの先輩方とともに新入部員へ丁寧に教えながら作業に取り組んでいました。

始めは、覚えることも多く大変そうだった部員でしたが、数時間経つ頃には指導の甲斐もあり、慣れた手つきで作業をこなしていま

した。新入部員は「播種作業では先輩方の教えのおかげで機械トラブルにも対応できるようになった。また、移動作業では、機械での作業とはいえ、運分量も多く大変だった」と初めての作業の感想を話していました。

この日の育苗作業終了後、青年部役員たちによるもち米事業の播種作業と田の肥料散布も行われました。播種作業はもち米の時は手作業で行われ、2年目ということもあり慣れた手つきでならしていました。役員たちは「昨年に比べて作業時間が短くなった」と話していました。もち米は全部で50枚を仕上げ、そのあとに田へ移動して耕起前の肥料散布をしました。



施肥後の耕運



機械でパレットに肥料と種粉を撒く



種粉の上に土をかぶせる作業



新入部員の初めての播種作業



もち米の田へ手作業で施肥する部員



土を手作業でならしている様子

# 直売所「林檎の森」

所員 児玉広樹



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。春になって気温も上がり、徐々にお客様も多くなってきました。

さて、3月19日から販売していたマイタケ菌ですが、今年は例年以上の反響で4月上旬には完売することが出来ました。お買い上げ頂いたお客様には改めて感謝申し上げます。

また、今年は予想を遥かに超える早さで売り切れた為、ご購入頂けなかったお客様には大変ご迷惑お掛けしました。来年は、在庫を増やすと共に、ご購入の際にはご予約していただくと幸いです。

現在、売り場には徐々に山菜を中心に地場産野菜の出荷が増えてきています。

また、当農協フルーツステーションでCA貯蔵し選果された有袋ふじ・シナノゴールドも店頭に並び大変おすすりとなっております。

その他、種芋や花・野菜の種、



この時期だけの各種山菜が勢ぞろい

花の球根も各種取り揃えておりますので、家庭菜園や園芸をお考えの際は是非、お立ち寄りください。今年も4/28から開催致しました「花と緑の市」は、たくさんのお客様にご来場頂き大変賑わいを見せておりました。詳しくは来月号に記載したいと思います。

最後に、4月1日の人事異動により、私も直売所に来たばかりで不慣れな点も多く、ご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、周りのスタッフの協力のもと、頑張つて行きたいと思っておりますので、これから宜しくお願い致します。

## 組合員 資格等の確認を お願いします

当組合定款第14条により、各位において組合員資格等に変更があった場合は、その旨を届けていただくことになっています。

つきましては、下に記載する組合員資格要件を満たさなくなった場合や氏名・住所・電話番号等に変更があった場合は、農協本所・各支所へ申し出いただきますようお願いいたします。

### 当組合の組合員資格要件

#### ○ 正組合員資格

1. 10アール以上の土地を耕作する農業を営む個人であって、その住所又はその経営に係る土地若しくは施設がこの組合の地区内にあるもの
2. 1年のうち90日以上農業に従事する個人であって、その住所又はその従事する農業に係る土地又は施設がこの組合の地区内にあるもの
3. 農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの

#### ○ 准組合員資格

1. この組合の地区内に住所を有する個人で、この組合の事業を利用することが適当と認められるもの
2. この組合から事業に係る物資の供給又は役務の提供を1年以上継続して受けているこの組合の地区内に勤務地を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの
3. この組合から第7条第1項第4号、第10号又は第22号の事業に係る物資の供給又は役務の提供を1年以上継続して受けているこの組合の地区外に住所を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの

詳しくはJA相馬村本所 総務課 (Tel: 84-3215) までお問い合わせください。



# 生産情報

農業振興課主任 田中裕滋



## ○りんごの生態

相馬管内の生育状況は、発芽日はふじで昨年より6日～8日ほど遅く経過しましたが、4月中旬に平年と比べ気温が高く経過したため、展葉日は昨年に比べ3日遅れにまで回復しました。今後とも圃地の生態に合わせて適期防除に心がけましょう。

## ○りんご作業(5月15日～6月15日)

今後は、摘果作業を迎えます。一回目の摘果作業は、早く、多くの数を摘果するよう心がけましょう。果実の細胞分裂が終わる「落花25日頃」までに摘果を終えるのが理想的です。

摘果作業が遅れそうな場合には薬剤による摘果を行いましょう。

摘果剤はミクロデナポン1200倍を使用し果実に十分にかかるように、展着剤を加用して10aあたり350g以上散布して下さい。

散布時期は、ふじ、王林、早生ふじ、トキでは満開後2週間頃(ふじは横径目通りの高さで7～10mmくらゐ)、紅玉、星の金貨では満開後3週間頃(紅玉では中心果の横径16mmくらゐ)の一回です。つがるやジョナゴールド、世界一などの早期落果の多い品種やジョナゴールドにかかると落ちすぎるころがありますので、かからないように気を付けましょう。

	ふじ	王林	つがる
湯口	4/13 (3日遅い)	4/12 (7日遅い)	4/17 (1日遅い)
紙漣沢	4/15 (3日遅い)	4/14 (6日遅い)	4/20 (3日遅い)
相馬	4/15 (3日遅い)	4/15 (9日遅い)	4/20 (昨年同日)
りんご研	4/12 (5日遅い)	4/11 (7日遅い)	4/12 (4日遅い)

地区別の展葉日(カッコ内は昨年比)

散布計画	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備考
4	350㍓	落花10日後頃	デラン(F) エルサン(水) 果面保護剤	1500倍 1000倍	リンゴハダニが多い場合バロック2000倍を加用
5	420㍓	落花20日後頃	ジマンダイセン(水) スプラサイド(水) 果面保護剤	600倍 1500倍	
6	500㍓	6月中旬	アントラコール(顆水) 又はラビライト(水) モスピラン(顆水) ダニオーテ(F) 果面保護剤	500倍 500倍 4000倍 2000倍	・ダニの予察を行い適期散布に努めましょう。 ・ラビライトを選択することで枝フラン病を同時防除することが出来ます。

りんご病害虫防除暦(第4回目～6回目)

## ○水稲

水田の一発除草剤は「シグナスジャンボ剤」を使用します。除草剤施用時には5～6cmの深水にし、その後3～4日は水田に水を入れないようにしてください(薬剤の層を壊さないため)。やむを得ず水を入れる場合には、静かに水を入れて下さい。

その後の水管理は、平均気温が高い時は浅水にして分けつを促進し、低い時には深水にして低温障害を防ぎましょう。

水が足りなくなつた場合は夜間に水を入れ、かけ流しは絶対に避けてください。

## ◎農作業事故防止に努めましょう

農作業が本格化し、忙しくなりますが、機械作業は焦らず無理をしない運転を心がけましょう。どんなに慣れた作業でも油断はせず事故防止に努めましょう。

今年も高品質でおいしいりんご生産に向けて、産地一丸となって取り組んでいきましょう。

# 果実販売動向

販売課 田中瑠偉



4月の果実動向は、全体的に数量減の単価高で推移しました。イチゴについては、潤沢な入荷となり、気温上昇により一部の品質低下がみられましたが、値ごろ価格で販売され、量販店の売り場が広く確保されていることから安定した販売となりました。スイカについては、生育の遅れで、例年に比べ流通量の少ない中、消費地での天候不順により荷動きは限定的ではありませんが、高値基調での販売で推移しています。リンゴについては、競合する品目が少ないなかで、サンふじを中心に入荷量の少ない状況が続いておりますが、小売価格が高めに設定されていることから、売場に対しての不足感がみられず、また、大玉系を中心に内部障害、ヤケ等の傷みの散見に加え、品質低下懸念による冷蔵ケースの移行などから荷動きが鈍く、大玉中心に仲卸在庫を抱えながらの販売が続きました。王林・ジョナゴ

ルド・シナノゴールドについては、極端に入荷量が少ないことから、引き続き堅調な販売となりました。そのような環境のなかで、当JAでは、有袋ふじの小売価格が極端に高いことから、品揃え程度の販売でスタートし、サンふじとの併売となります。サンジョナゴールドについては4月いっぱい終了し、有袋ジョナゴールドへと移行されます。輸出については、香港向けの王林が5月上旬で販売終了し、台湾向けの有袋ふじも4月で終了しました。

今後、イチゴについては、気温上昇による品質懸念や、入荷量の減少により売り場縮小が予想されますが、急激な売り場縮小とはならず一定の引き合いは維持される見込みから、安定した荷動きが予想されます。スイカについては、入荷量が徐々に増加されるものと思われませんが、総体量は少ない見込みや、消費地の気温上昇とともに、



スピーディーに行われるリンゴ詰め作業

堅調な販売が続く見通しです。キウイ等の輸入品目については円安進行の影響から単価高の入荷数量減ではありますが、販売品目が少ないことから売場は拡大傾向にあります。

GW以降も高値続きにより緩やかな荷動きとなっていることに加え、消費地の気温上昇に伴い品質が懸念されることから、計画的な販売企画と柔軟な出荷対応をとりながら、販売終了まで価格維持を図ります。

単価は全農あおもりデータ（4/25累計）、在庫数量は県りんご果樹果作成（3月末）

品 種	サンふじ	ふ じ	王 林	ジョナ	その他	合 計
単 価 (円)	3,338	4,388	3,379	3,639	2,653	3,207
前 年 比 (%)	131	105	124	144	88	123
在庫数量 (ト)	26,269	23,654	5,300	10,068	4,391	69,682
前 年 比 (%)	69	86	69	76	68	75